

第3地域ロータリー財団チームニュース第3号

たくさんの方の感動をありがとう！

9月5日に閉会したパラリンピックで、日本選手は金メダル13、銀メダル15、銅メダル23、合計51個のメダルを獲得し、多くの感動と勇気を私たちに与えてくれました。活躍した全ての選手の皆さんに心からの感謝を捧げたいと思います。中でも、女子マラソン金メダルの道下美里選手は福岡中央エンジョイロータリー衛星クラブに所属するロータリアンです。道下選手を応援する太宰府ロータリークラブ(2700地区)の今村次美会長が書かれていた産経新聞のコラムは素晴らしいものでした。本当におめでとうございます。



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

今回は、皆さんがよく質問をされる、地区補助金・グローバル補助金の諸手続きについて説明いたします。内容は、マイロータリーの中の「ロータリー財団」に詳細が書いてあります。

ロータリー財団の地区補助金・グローバル補助金の制約事項と申請方法

【補助金の種類】

ロータリー財団は、地区補助金とグローバル補助金を授与する。地区補助金は、財団の使命(ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること)と一致する奨学金、旅行、プロジェクトに充てるために、地区に一括で支給される。グローバル補助金は、重点分野のうち少なくとも1つに関連する大学院レベルの海外留学奨学金、職業研修チーム(VTT)、プロジェクトのために授与されるものであり、地域社会のニーズに基づき、その成果が測定可能、持続可能なものでなければならない。

【制約事項】

補助金は、いかなるグループも不当に差別したり、特定の政治的・宗教的見解を推進したり、完全に宗教を目的とした催し物を支援したり、妊娠中絶に関連する活動や性決定のみを目的とする活動を支援したり、武器や弾薬の購入資金に充てたり、ロータリー財団への新たな寄付またはロータリー財団の他の補助金への新たな寄付とすることはできない。これに加え、補助金を以下の目的に使用することはできない。

1. 特定の受益者、団体、地域社会に対する継続的または過度の支援。
2. 財団、恒久的信託、利子の発生する長期口座の開設。ただし、第 XI セクションに記載された要件に提唱者が従うならば、補助金資金を小口融資ファンドの設立のために使用できる。
3. 土地や建物の購入。
4. 募金活動。

5. 地区大会、国際大会、研究会、創立記念式典、娯楽活動、プロジェクトでの式典などのロータリー行事に関連する経費。
6. 広報的な取り組み(プロジェクト実施に不可欠な場合を除く)。
7. 1,000ドルを超える、プロジェクトの標識。
8. 他団体の運営費、管理費、間接プログラム経費(グローバル補助金における協力団体でのプロジェクト管理費を除く)。
9. 受益者や協力団体への使途無指定の現金寄付。
10. 既に経費が発生した活動。
11. ワクチンの出所となる国ならびにワクチンの受領国のしかるべき政府や規制当局からの事前の承認なく実施される国境を越えたワクチンの輸送。
12. 全国予防接種日(NID)に出向くための旅費。
13. ポリオワクチンのみを含む予防接種。
14. 新型コロナワクチンの購入。
15. ロータリー平和センター提携大学において、ロータリー平和フェローが専攻するのと同じ、または類似した専修プログラムで学ぶための留学。
16. 報酬なしで労働する人が必要とされるプロジェクト。その代わりにプロジェクトは労働者の権利と適正な賃金の慣行を目指すものであるべきである。スウェットエクイティを提供することを受益者に求める場合、これらの受益者からの明確な同意が必要である。
17. 当該国の法的な労働年齢未満の人、または法律で年齢が定められていない場合は16歳未満の人による労働が必要とされるプロジェクト。

【グローバル補助金】

上記に加え、グローバル補助金を以下の目的に使用することはできない。

1. ロータリー青少年交換、RYLA、ロータリー友情交換、ローターアクト、インターアクト、または新世代交換プログラム
2. 18歳未満の青少年の海外渡航費(保護者同伴の場合を除く)
3. 人が居住、仕事、またはかなりの時間を過ごす永久建造物、すなわち病院、コンテナハウス、移動住宅など、もしくは製造や加工などを実施するための建造物の新たな建設。補助金プロジェクトの実施にあたって建物の建設が必要な場合、この建設費用は補助金以外の資金で賄わなければならない。
4. 一部建設済み(外装のみ完成した建造物を含む)であるが入居または運営されたことのない建造物を完成させるための修復
5. 人道的プロジェクトに参加する協力団体の職員の旅費。
6. ロータリー以外の団体が主体となって実施する活動。
7. 主に研究・調査またはデータ収集から成る人道的プロジェクト
8. 個人の旅行経費のみを含む人道的プロジェクト
9. 大学の学士課程での勉学
10. 1つの補助金の下で行われる、互いに関連していない複数のプロジェクト。

【申請方法】

補助金は、補助金センターからオンラインで申請できる。

ロータリー財団の補助金を受領するには、関係するすべての代表提唱地区はロータリー財団によって資格が認められなければならない、グローバル補助金の場合には、関係するすべての代表提唱クラ

ブは地区によって資格が認められている必要がある。これに加え、地区、クラブ、補助金委員会の全委員は、国際ロータリーとロータリー財団に対して財務的な健全性を保っている必要があり、かつ補助金を受領するプロジェクトの名称は、ロータリーのロゴ、標章、グラフィックの使用に関する国際ロータリーの方針を遵守する必要がある(上記Ⅱを参照)。RI 財務代行者、国の会計担当者、補助金と関連のある協力団体や受益団体の理事会メンバーと有給職員は、補助金委員会の委員を務めることが禁じられている。各代表提唱地区、または各代表提唱クラブが一度に有することのできる未終了の補助金は、10口までに限られる。

【地区補助金】

地区は、3名のロータリアンから成る補助金委員会を設置する必要がある。この3名には、補助金の実施年度の地区ガバナー、地区ロータリー財団委員長、地区補助金小委員会委員長が含まれる。これらの委員会委員は、地区補助金の申請において承認手続きを行い、申請書を提出する責務を担う。地区は1ロータリー年度につき1回申請を提出することができ、申請には使用計画を含める必要がある。補助金増額の要請は、ロータリー財団が補助金の支給を開始する前に行わなければならない。地区補助金の申請はすべて、補助金が申請されたロータリー年度の5月15日より前に提出されなければならない。地区補助金の場合：1. 地区は、年度中に発生し得る臨時費のために、地区補助金の20パーセントまでを取っておくことができるが、承認された後に補助金に追加するすべてのプロジェクトと活動は、資金を利用する前に財団からの承認を受ける必要がある。使用計画にこの臨時費を盛り込み、最終報告書を提出する際に臨時費の内訳を記載する必要がある。2. 補助金の3パーセントまでを、補助金に関連した管理運営費(銀行手数料、郵送料、ソフトウェア、独立財務評価など)に充てることのできる。

【グローバル補助金】

実施国と援助国の代表提唱者は、それぞれ、グローバル補助金を担当する3名のロータリアンから成る補助金委員会を設置する必要がある。この補助金委員会の委員は、代表提唱クラブの会員(クラブ提唱の場合)または代表提唱地区の会員(地区提唱の場合)とする。クラブが提唱者となって補助金を申請する場合、代表提唱クラブが参加資格認定を受けていることを地区ロータリー財団委員長が確認する必要がある。申請書は、ロータリー年度を通じて随時受理され、資金の利用可能性に応じて承認される。

グローバル補助金の場合：

1. 提唱クラブまたは地区は、物価上昇や為替変動に対応するため、全予算額の10パーセントまでを臨時費に配分することができる。提唱クラブ／地区は、この臨時費から支出があった場合、それを報告し、全額使用しなかった場合は、財団に返金する必要がある。
2. プロジェクト予算の10パーセントまでを、プロジェクト管理費(協力団体において、そのプロジェクトのマネジャー費用、諸経費、運営管理諸経費が発生する場合はそれも含む)に充てることのできる。
3. プロジェクト予算の10パーセントまでを、プロジェクトの成果を測定するための経費に充てることのできる。

奨学生と職業研修チームメンバーは、補助金全体の申請の補足資料として個人の参加申請書を提出する必要がある。奨学生ならびに職業研修チームの申請者が、経費の利用または旅行の手配の前に、財団による申請書の承認が必要であることを理解していることを確認すべきである。奨学生、職業研修チーム、ボランティアの旅行を含む申請書は、旅行日の90日前までに提出する必要がある。

* ご不明なことがあれば、地域ロータリー財団チームにご連絡ください。
次回は、補助金の資金源について説明いたします。

2021～2022 年度 日本のロータリー財団目標

- * 年次基金 1 人当たり 150ドル(日本全体 1,350 万ドル)
年次基金寄付ゼロクラブゼロ達成を継続する。
Every Rotarian Every Year(年次基金への寄付)の推進
ポール・ハリス・ソサエティの推進
- * ポリオプラス基金 1 人当たり 30ドル(日本全体 270 万ドル又、1,500ドル以上のクラブに財団感謝状贈呈)
- * 恒久基金 冠名基金を各地区一件以上
- * 大口寄付 寄付の種類にかかわらず、1 万ドル以上の寄付を日本全体で 100 件
AKS を日本全体で 10 名増やす。
中期目標として、2～3 年で「AKS 0 名地区」ゼロを目指す。
- * DDF の活用
 - ・DDF の 20%をポリオプラスへ寄贈
(DDF の 20%をポリオプラス基金へ寄贈した地区と、1500ドル以上の寄付をしたクラブには、ロータリー財団から感謝状が贈られます。)
 - ・ロータリー平和センター、重点分野への寄贈。
(日本ロータリー平和センター基金(E11695)の累計が、150 万ドルに達すると毎年この基金からロータリー平和フェロー1 名を支援できます。)
 - ・各地区が DDF を使い切る。
- * 補助金活動 グローバル補助金・地区補助金の活用の促進
ロータリー平和フェローシップの推進

ロータリー財団地域コーディネーター、ロータリー財団地域コーディネーター補佐の役割

- * 年次基金への寄付の重要性について地区リーダーを通じて、クラブに伝える。
- * ポリオ根絶コーディネーター(EPNC)と協力して、クラブへポリオ寄付を推進する。
- * 地区リーダーと協力して年次基金への寄付を推進する。
- * 地区リーダーと協力して、グローバル補助金・地区補助金への参加を促す。
- * ポリオ根絶・ロータリー平和センター・重点分野などの財団活動の周知を図る。
- * 地区の財団活動への支援を行う。
- * E/MGA と協力して、恒久基金・大口寄付の推進を図る。

～～RRFC・ARRFC 活動状況～～

吉原久司 ARRFC(2710 地区)

担当地区(2670・2680・2690・2710)に対して、

第 3 地域ロータリー財団チームニュースの地区内全クラブへの回覧のお願い。

12 月 5 日開催のロータリー財団地域セミナーへのご協力をお願い。

各地区での大口寄付(1 万ドル以上)・冠名基金設立情報について情報共有のお願い。

第 3 地域 EPNC 前田直俊(2670 地区・坂出東 RC)

タリバン統治下のアフガニスタンにおけるポリオ根絶活動の声明を聞いてください。

2021年1月1日に太陽が昇った時、私たちは皆この新年が何をもたらすかについて心配していました。ポリオ根絶の進展をしっかりと見守っている私たちにとって、それは特に気になる時期でした。2020年と2019年には野生株のポリオウィルスの症例と伝播型ワクチン由来の症例で増加が見られました。ポリオワクチン接種はコロナウィルスのために2020年にしばらく中断されなければならず、そしてCovid-19のワクチンはちょうど早期使用の承認を受け始めていました。

アフガニスタンではポリオのニュースは特にひどいものでした。2021年の初日に野生株のポリオウィルスの症例が報告されました。翌週、ポリオ以外の問題に関する汚職の兆候があったため、国の保健大臣が解雇されました。アフガニスタン政府は大統領府で起こった言葉上の小競り合いにより、月末までにユニセフのポリオのリーダーに国を退去するよう命じました。その後3月と6月にポリオ活動従事者とその治安部隊に対する組織的攻撃が行われ8家族が愛する人を失いました。タリバンは攻撃の責任を否定し攻撃はISISまたはISILをサポートする一味に関連しているように見えました。また私たちは国の一部の地域では家から家へのポリオワクチン接種が30カ月以上禁止されていたことにも注目しました。

これが全て行われている間ほとんど報告されていない他の活動が起こっていました。1月17日WHOとユニセフの地域ディレクターがカタールのドーハにあるタリバン事務所に集まりタリバンが管理する地域でのポリオワクチン接種の協調対応について話し合いました。家から家へのポリオワクチン接種は合意されていませんでしたが、タリバン指導部の7人の上級メンバーはワクチン接種活動を提供するための他の措置への指持を示しました。国のすべての地域で健康診断は中止することなく続けられ、新たな野生株のポリオの症例はなく環境中のポリオウィルスの明確な同定も示されませんでした。8月17日の週のポリオパートナーシップリーダーによるズームコールを通じてWHOのグローバルポリオディレクターのAidan O'Learyはアフガニスタンには世界で最も優れたポリオ監視プログラムの1つがあり、どこにもポリオは見つからなかったと述べました。

8月中旬にアフガニスタン政府が崩壊した後、新しい指導部は2月以来プログラムを改善するのに効果的であった保健大臣代理を継続させることに合意しました。タリバンの指導者たちは国及び地域のポリオ事務所を訪問しポリオ根絶プログラムへの支援を約束しました。8月23日、ロータリーが支援する道端の予防接種小屋で5歳未満の子供達に予防接種を提供しましたがその時地元のタリバンが必要な安全を提供しました。安全上の理由から受け取ったその時の写真は共有できませんが世界で活躍しているロータリーのロゴを見るのは嬉しいことです。

ロータリーのアフガニスタンの会員数はわずか35人です。彼らは勇気と忍耐力で毎日私を勇気づけてくれます。ポリオプログラムはすべての国において常に政治的に中立でした。ロータリーとそのパートナーは政権を担当している指導者と協力します。私たちは現在アフガニスタンの新しい指導者と協力しています。ロータリーはWHOとユニセフに資金を提供しています。政府やWHOとユニセフ以外のグループに資金を送る事はありません。私たちは彼らが私たちに代わって行う支出に関して非常に綿密に監視しています。私たちはアフガニスタンで、ポリオ根絶にこれまでに近く近づいています。私たちはアフガニスタンの人々やパートナーと協力して、35年以上前から始まったポリオ根絶活動を完成させていきます。

以上がポリオプラス委員会からの声明でした。第3地域 EPNC 前田直俊

【野生型ポリオウイルスによる症例数】

掲載サイト: [GPEI ウェブサイト\(英語\)](#)

		2021年 1月1日～ 8月17日	2020	2019	2018
常 在 国	パキスタン	1	84	147	12
	アフガニスタン	1	56	29	21
世界合計		2	140	176	33

今年は1月1日から約9ヶ月が経過し、まだ2例 !!

次回は寄付の種類や、大口寄付・冠名基金設立について詳しくご紹介します。
あなたの寄付が「世界でいいことをする」原動力になっています。

第3地域ロータリー財団チーム

RRFC 永田壮一 E/MGA 佐藤芳郎 EPNC 前田直俊
ARRFC 四宮孝郎
ARRFC 吉原久司
ARRFC 駒井英基

文責:永田壮一